

■『IT NEWS LETTER』 2026年3月号

～ ITの分からないことも、まずは一歩から ～

(1) IT導入補助金はどう変わった？～デジタル化・AI導入の後押し制度～

これまで広く知られていた「IT導入補助金」は、制度の見直しを重ねながら、単なるITツール購入支援から「デジタル化による業務改善支援」へと広がり、「**デジタル化・AI導入補助金**」と変わりました。インボイス対応やセキュリティ対策、さらにはAI活用なども対象となり、中小企業の生産性向上を後押しする制度として拡充されました。

■どんな導入が対象になるのか

- ・会計、給与、販売管理などの業務ソフト
- ・勤怠管理や経費精算のクラウド化
※2年間のクラウド利用費も補助対象
- ・請求書電子化やインボイス対応
- ・顧客管理（CRM）
- ・AIによる文章作成や問い合わせ対応
- ・セキュリティ対策ソフト など

■補助率の目安（※年度や枠により変動）

- ・補助率：1/2～2/3
- ・小規模事業者は2/3となる場合あり
- ・セキュリティ枠は定額補助型の場合もあり

例えば100万円の導入であれば、50～66万円程度が補助されるイメージです。



<https://it-shien.smri.go.jp/>

1次締切：2026年5月12日（火）17:00

2次締切：2026年6月15日（月）17:00

ただし、「申請すれば必ずもらえる」制度ではありません。
どんな課題があるのか、導入後どのように改善するのか、継続的に活用できるかなど、計画が重要になります。
補助金は“目的”ではなく、“きっかけ”です。

まずは自社の課題整理から始めることが大切です。
自社に活用できるかどうかも含め、検討段階からご相談いただけます。

(2) サイバー攻撃を“家”に例えると？

「うちは狙われるような会社ではない」
そう思っている、**サイバー攻撃の多くは無差別に行われています。**
これを“家”に例えると分かりやすくなります。

- 玄関の鍵＝パスワード
- 窓＝メールの添付ファイル
- 裏口＝リモート接続やVPN
- 施工ミス＝設定不備や更新漏れ

玄関だけしっかり鍵をかけても、
窓が開いていれば侵入される
可能性があります。
セキュリティも同じです。

- 1つの対策だけでは不十分で、
基本の積み重ねが重要です。
- ・強固なパスワードと多要素認証
 - ・ソフトウェアの定期更新
 - ・メール訓練や従業員教育
 - ・ウイルス対策やファイアウォールの設置

「完全に防ぐ」ことは難しくても、「侵入されにくくする」ことはできます。

デジタル化を進める“攻め”と、会社を守る“守り”。どちらもバランスよく整えることが、これからの経営には欠かせません。

ご不明点や現状確認については、お気軽にご相談ください。



デジタル化もセキュリティ対策も、単なるIT投資ではなく、これからの経営基盤を整えるための重要な判断の1つです。
変化の速い時代だからこそ、守りと攻めを意識し、自社に合った形で着実に取り組んでいくことが大切です。

IT 顧問

よろず相談から業務支援まで、IT専門家が寄り添いご対応いたします。

IT NEWS LETTERへのご要望、ご質問は、it_project@k-taxpartners.co.jp まで。